



集合型生徒指導関係会議

この会議は今年度の生徒指導方針の確認や支援人材等を紹介するため、年度当初に集合型で実施している担当者会議です。新型コロナウイルス

感染拡大防止のため、昨年度はオンラインでの開催となりましたが、今年度は感染が落ち着いてきたこともあり、4月7日に集合型で実施しました。



集合型の利点を活かし、「令和3年度の問題行動調査から見えてきた成果と課題」、「子どもたちの自己肯定感を高めるために取り組めること」など、中学校区ごとで交流しました。

今年度の生徒指導方針である「一人も孤立させない生徒指導」に向け、中学校区での意見交流は、「学びの連続性」という観点からも意義深いものになりました。

6月7日には、生徒指導担当者に加え、各校に配置SC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)との合同連絡会を実施しました。「一人も孤立させない生徒指導」を達成するために子どもたち一人ひとりの状況をアセスメントすることは重要です。「新たに不登校を生まないための組織対応」をテーマに中学校区ごとに意見交流を行いました。

連絡会后、南河内地区のSCスーパーバイザーより「専門家と担当者が一つのテーマに対して意見交流できるこの連絡会は素晴らしい。今後も続けてほしい。」との感想を頂きました。

ありがとうございました。

スマートスクール

実現モデル校校内研修

狭山中学校

狭山中学校では大阪府の指定を受け、「スマートスクール実現モデル校」として、タブレット端末を活用した授業づくりについて研究を進めています。

5月31日の校内研修では、

「Kahoot」

(右写真)や

「Jamboard」

(右下写真)等について話し合いました。

「Jamboard」は、研究を進めていくために必要なことは何かを交流するツールとして使用する

もので、研修後は教員より「習うより慣れる。まずは使ってみよう！」と意識が高まっていました。今後の狭山中の授業が楽しみです。



日本赤十字社提供 救命救急講習

今年度、6月8日から10日に、日本赤十字社による救命救急講習を市内全校園が受講しました。水泳指導だけでなく、子どもたちの安全安心のため、毎年受講するようにしています。

